

KTCスマイルケア株式会社
放課後等デイサービス チャイルドホープ

地震対応マニュアル



地震発生！

事業所内 または、他の建物内

スタッフの対応

子どもへの対応・留意点

子どもの安全確保

揺れがおさまる



津波発生！

安全な場所へ避難

避難場所決定と指示

★津波危険地域は迅速な避難を最優先

指定避難場所へ

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・できるだけ中央に伏せ、ガラス等から身を守る
- 「しゃがんで」
- 「机の下にもぐって」
- 「頭を守って」
- 「〇〇がいるから大丈夫」
- 「〇〇のそばにおいで」
- ・頭部を保護させ、落下物のない場所に集める
- ・火災など二次災害の防止
- ・出口の確保

- ・的確な指示
- 「頭を守って」
- 「外に出ます」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・スタッフ全員で避難指示

- ・トイレや相談室等に子どもが残っていないか確認する
- ・人員を確認
- ・避難場所に誘導し、落ち着かせる
- ・頭部を守り、靴を履いて行動させる
- ・日報の携帯

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・責任者(管理者、児発管)不在時は連絡を取り合い対応する
- ・関係機関への連絡

- ・状況を伝え、避難場所へのお迎えを依頼
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各避難場所で手渡しするまで保護する

- ・机等の下にもぐらせる
- ・子どもは、姿勢を低くさせ、頭部を保護させる
- ・スタッフのそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

全員へ避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、地域住民等の協力・連携・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている子どもには、そばに寄り添って行動する
- ・子どもの健康状態に気を配りながら移動する



地震発生！

外遊び中

スタッフの対応

子どもへの対応・留意点

会員の安全確保

揺れがおさまる

- ・的確な指示
「しゃがんで」
「頭を守って」
「大丈夫、〇〇がいるから安心して」
- ・速やかに建物等から離れ、中央に避難、頭部を保護させる

- ・頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・スタッフのそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる



津波発生！

避難場所決定と指示

★津波危険地域は迅速な避難を最優先

- ・的確な指示
「〇〇のそばにおいで」
「けがをした人はいませんか」
「頭を守って」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認

全員へ避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

指定避難場所へ避難

★津波の恐れがある場合は高台等へ

- ・人員を確認し、最寄りの安全な場所に避難誘導する
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める
- ・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている子どもには、そばに寄り添って行動する
- ・子どもの健康状態に気を配りながら移動する

安全確認

教室へ連絡 避難後の対応

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・教室に状況を報告
- ・責任者(管理者、児発管)に状況を報告し、対応を決定する

- ・教室に帰ることが危険と判断される場合は、安全のため、決められた避難場所に待機し、教室に状況を報告
- ・責任者(管理者、児発管)に状況を報告し、対応を決定する

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・状況を伝え、避難場所へのお迎えを依頼
- ・保護者と連絡がとれない場合は、避難場所での保護する



地震発生！

学校・ご自宅への送迎中

スタッフの対応

子どもへの対応・留意点

子どもの安全確認

揺れがおさまる

- ・地形や状況を判断し、崩落や落下物等の恐れがない安全な場所にバスを停める
- ・的確な指示
「頭を守って」
「〇〇がいるから安心して」

- ・身近な物で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・スタッフのそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる



津波発生！

指定避難場所へ避難

★津波危険地域は迅速な避難を最優先

- ・的確な指示
「けがをした人はいませんか」
「頭を守って」
「あわてないで、大丈夫よ」
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
- ・最寄りの避難場所を選定する
- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・落下物、飛散ガラス等から身を守るよう指示
- ・地割れした道路、倒れた電柱、垂れ下った電線等に近づかないように指示
- ・人員を確認し、避難誘導する

全員へ避難の指示

- ・静かにさせる
- ・身近な物で頭部を保護し避難させる

- ・避難誘導、負傷者搬送など、周辺の方に協力を求める・安心させるよう声かけをする
- ・不安を抱いている園児には、そばに寄り添って行動する
- ・子どもの健康状態に気を配りながら移動する

安全確認

教室へ連絡 避難後の対応

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・教室に状況を報告
- ・責任者(管理者、児発管)に状況を報告し、対応を決定する

- ・教室に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、・教室に状況を報告
- ・責任者(管理者、児発管)に状況を報告し、対応を決定する

保護者への連絡

- ・状況を伝え、避難場所へのお迎えを依頼
- ・保護者と連絡がとれない場合は、各避難場所での保護

保護者への引き渡し